



で見る

2006~2007

ロボットコンテスト特集

ロボットコンテストは、その試合の流れや戦いぶりを見るだけでも十分に面白い。しかし、出場しているロボットの構造や、技術的な工夫、開発過程での裏話を知ることによって、もっと楽しむことができるのだ。

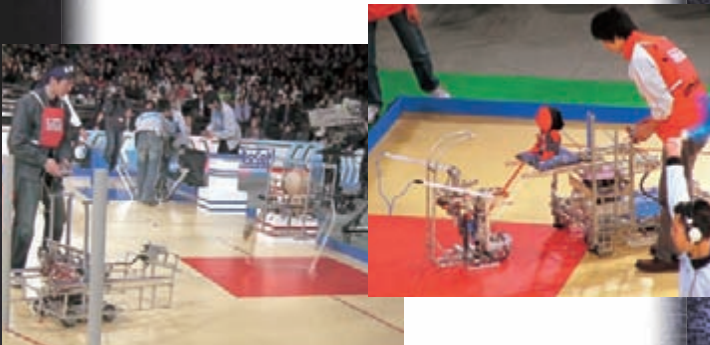
今回は、2006年11月から2007年1月にかけて開催されたロボコンで、ロボマガ編集部が選んだ注目ロボットの数々を紹介しよう。(編集部)

アイデア
対決

全国高等専門学校 ロボットコンテスト 2006

(10～15 ページ)

2006年大会のテーマは「ふるさと自慢特急便」。各高専の地元特産品をモチーフとした「ふるさとオブジェ」をロボットに載せて、数々の障害をクリアしながらゴールへ運んでいく。



第
18
回

全日本ロボット相撲 3kg 級大会

(16～19 ページ)

ロボコンファンにとって、12月に開催される相撲といえば「全日本ロボット相撲大会」だろう。この冬も、相撲の本場である両国・国技館で、128機のロボット力士たちが熱い戦いを繰り広げた。



マイクロマウス 2006

第27回

全日本マイクロマウス大会

(20 ~ 23 ページ)

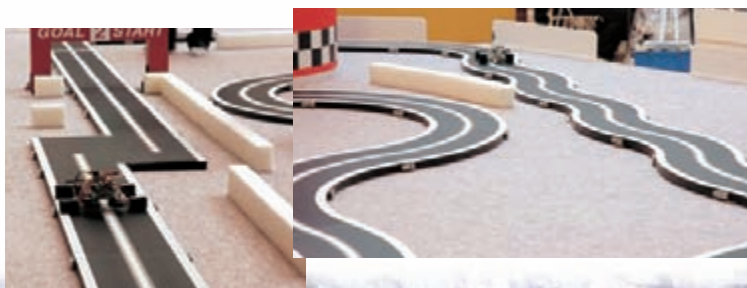
今回の会場は、山形県長井市の置賜地域地場産業振興センター。決勝大会としては初めて、関東を離れての開催となった。近年、海外勢に押され気味ではあるが、日本勢の巻き返しはあるのか!?



ジャパンマイコンカーラリー 2007 全国大会

(24 ~ 27 ページ)

S字カーブやクランクが連続する超難関コースを、F1のごとくマイコンカーが駆け抜ける! 今年のコースは、新たに「レーンチェンジ」が加わって、さらに難易度が増している。

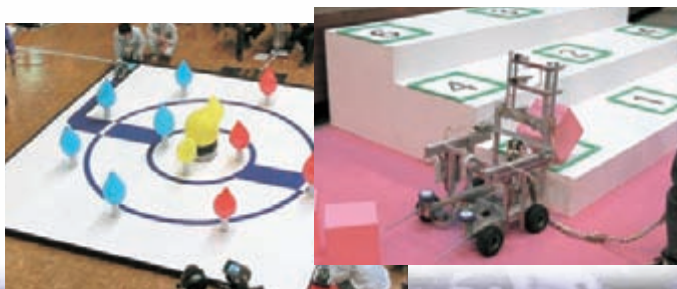


第15回

全国専門学校ロボット競技会

(28 ~ 31 ページ)

全国から計 14 校の専門学校が、日頃の成果を結集させたロボットを持ち寄り、4つの部門に分かれて競い合う。今大会から新設された「二足歩行ロボット競技」にはモアイ像を模したロボットも登場し、会場を沸かせた。



WRO 2006 国際大会

(32 ~ 37 ページ)

LEGO MINDSTORMS を使用した国際的なロボット競技会。2006 年の開催地は、中国・南寧。各国を代表して集まった約 190 ものチームが一堂に会して競い合う、まさにロボットのオリンピック的大会だ。



提供: WRO Japan 実行委員会

Chien-Chin Primary School/Mentor: Tsai, Li-Chen/Team Members: Huang, Chi-Lin and Kuo, Yen-Yi